



札幌 BLSO 2023.2.25 ～HOPPIE～



BLSO 開催にあたって

- BLSO (Basic Life Support in Obstetrics) とは、病院外・病院前での妊産婦救急を想定した、産科に関する基礎的なトレーニングコースです。
- このコースは、日頃産科医療に携わっていないが、妊産婦の救急場面や車中分娩に遭遇することがある方々、救急隊(救急救命士・救急隊員)、救急医、家庭医、看護師あるいは小児科医(新生児科医)の方々を対象とし、レクチャーと少人数グループによるマネキンを使用した妊婦の評価方法、分娩介助、新生児蘇生、産後大出血、妊婦蘇生等について実習を行います。
- コースは、1日で筆記試験と実技試験に合格すると米国家産科医学会(AAFP)とALSO Japanより5年間有効な認定証を受けることが出来ます。実技、医療安全に基づいた症例検討を1日で行います。
- 札幌市内においても未受診妊婦を含む周産期関連の救急要請など周産期事案の搬送があります。産婦人科の分娩取り扱い施設の減少により搬送距離延長で搬送中に分娩に至る事例もあります。周産期の知識を深め、病院前、救急外来、周産期で顔の見える関係を築いていきましょう。

BLSO プロバイダーコース @手稲溪仁会病院

(会場住所:札幌市手稲区前田1条12丁目1-40)

開催日:令和5年2月25日(土) 8:30~18:00 予定

会場:手稲溪仁会病院 Kビル101~104、205、206 会議室

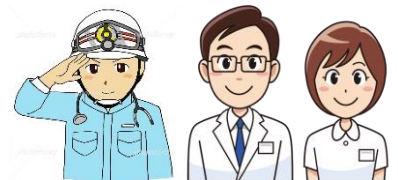
主催:HOPPIE(北海道周産期医療救急支援の会)

共催:札幌市、NPO 法人周産期医療支援機構(OPPIC)

対象:病院前救急に携わる救急救命士、救急隊員、救急医、
家庭医、看護師など

定員:12名 参加費:15,000円(認定料含む)

※本研修は、さっぽろ連携中枢都市圏(石狩管内、小樽市、岩見沢市、南幌町、長沼町)の事業として行うため、札幌市及び連携都市圏からの応募を優先させていただきます。



※ 以下のフォームもしくは、QRコードから申し込みください。

※ 応募期間(2022.12.1~12.20)

<https://forms.gle/H73oMcx3TRrxxr5NbA>



HOPPIE 紹介

北海道周産期医療救急支援の会で英文表記は Hokkaido Organization for advancement of Pregnancy, Perinatal and Infant care and Emergency treatment (HOPPIE) といひまっ。

この会は北海道の産婦人科、小児科、救急医療などの医療領域において、特定非営利活動法人周産期医療支援機構(OPPIC)が活動権限を持つ Advanced Life Support of Obstetrics (以下 ALSO)または Basic Life Support of Obstetrics (以下 BLSO)を主とした周産期医療・救急シミュレーションコースを通じて、妊娠・出産・新生児・乳児期の医療領域に取り組む志ある医師、助産師、看護師、救急隊員等の医療従事者に対する研修を実施し、この医療領域に携わる医療従事者を育成することによって地域医療を推進し、地域住民の福祉厚生の増進に寄与することを目的としています。



<使用教材>

- 1) 日本版救急蘇生ガイドライン2020に基づく新生児蘇生法テキスト第4版
細野 茂春 監修 メディカルビュー社
- 2) 病院前救護のための産科救急トレーニングー妊娠女性・院外分娩に
対する実践的な対処法
新井 隆成 監修 中外医学社

開催1か月前からe-learningを使用した予習をしていただきます。
また、ALSO本部登録後に事前学習資料が閲覧可能となります。

<講義予定>

時間	プログラム
8:30-8:40	オープニング
8:40-9:40	分娩介助
9:50-10:35	新生児蘇生
10:45-11:45	女性傷病者の評価
11:45-12:25	お昼休憩
12:30-14:30	実技試験・筆記試験・車内分娩
14:40-16:55	症例検討
17:05-17:45	振り返り・まとめ・成果物発表
17:45-18:00	エンディング→解散

問い合わせ先

HOPPIE 事務局長：手稲溪仁会病院 母子はぐくみセンター 助産師 中居洋子

Email：n.youko.hoppie@gmail.com



<会場案内図>

